

ツバルオリンピック委員会事前合宿 2021 実施報告書



令和3年8月

加古川市

ツバル事前合宿について

東京 2020 オリンピック競技大会に向けたツバル陸上競技の代表選手が本市で事前合宿を実施しました。当初は6名(選手2名、コーチ・役員等4名)の参加を予定していましたが、航空便の事情等により選手1名での実施となりました。なお、他の5名については、7月20日(火)に他国の選手らとともに専用便で東京へ到着されました。

1. 事前合宿の期間

令和3年7月9日(金)～令和3年7月21日(水)

2. ツバル代表選手

【選手】 Karalo Hepoiteloto Maibuca(カラロ ヘポイト メイブカ)

3. 宿泊施設

加古川市立少年自然の家(東神吉町天下原 715-5) ふれあいの森「宿泊館」

4. 滞在中概要等

成田空港に到着

7月9日(金)、カラロ選手はフィジーからの特別便で成田空港に到着しました。9時55分に借上げバスで加古川へ向け成田空港を出発し、およそ9時間で宿泊施設である市立少年自然の家に到着しました。新型コロナウイルス感染症対策からトイレ付のバスを準備し、カラロ選手にはバスから下車せずに加古川まで移動していただきました。

市立少年自然の家に到着したカラロ選手を加古川中学校の生徒が作成したウェルカムボードと、同中学校吹奏楽部の演奏(録音)が出迎えました。

カラロ選手からは、加古川市到着にあたり次のコメントが出されました。



【カラロ選手コメント】

加古川の皆さん、こんにちは。カラロです。

大好きな加古川に戻ることができて、とても嬉しいです。

私は、この加古川で最後の調整をして、東京オリンピックへ向かいたいと思っています。

私は、新型コロナウイルス感染対策におけるルールをしっかりと守り、そして目標を達成するために全力を尽くします。どうか皆さんのお力を借してください。

最後に、皆さんと皆さんの家族が、新型コロナウイルスから安全でありますように。

市長表敬訪問

7月10日(土)、カラロ選手は市長を表敬訪問しました。新型コロナウイルス感染症対策から、オンラインでの実施となりましたが、事前合宿に参加できなくなったツバルオリンピック委員会の5名もツバルからオンラインで参加されました。

カラロ選手は、今回の事前合宿やオリンピックへの意気込みを語りました。

加古川市からは、ジャージとTシャツ(加古川市と連携協定を締結し、ツバル事前合宿を盛り上げていただいているコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社の協力により作成)を渡しました。



加古川運動公園陸上競技場での練習

7月10日(土)~20日(火)の毎日(日曜日を除く)、カラロ選手は加古川運動公園陸上競技場で練習を行いました。

同競技場内では使用可能な部屋の入口にツバル国旗を掲示する等、時間的・空間的に一般客との動線を分離して新型コロナウイルス感染症対策を行いました。また使用機材等は、都度消毒を行いました。

練習では、職員がフォーム等のカメラ撮影を補助し、カラロ選手はオンラインでコーチから練習メニューや指導を受けていました。

公開練習は行いませんでしたが、競技場外の距離をとった場所から市民の方に声がけをいただき、カラロ選手が笑顔で手を振る場面もありました。



加古川中学校との交流

7月14日(水)の午後に、加古川中学校の生徒とオンラインで交流を行いました。生徒達は英語(通訳なし)で、カラロ選手に質問を行いました。

最初は緊張も感じられましたが次第にうちとけ、カラロ選手は笑顔でとても楽しい時間を過ごしていました。

また、生徒からのメッセージが書き込まれたウェルカムボードは、宿泊施設内に掲示し、カラロ選手から生徒へのメッセージも書き添えられました。



【カラロ選手メッセージ】

Thank you all for the wonderful message and I hope that each and everyone of you have a successful life in the future.

川西小学校との交流

7月19日(月)の午後に、川西小学校の児童とオンラインで交流を行いました。児童はグループに分かれて、カラロ選手に準備したクイズを出したり、質問を行いました。盛り上がったオンライン交流会は、予定していた時間を大幅に超えましたが、カラロ選手は一つ一つ丁寧に答えていました。

カラロ選手から開会式で行進すると教えてもらった児童は、テレビで応援すると答えていました。



応援メッセージ(陸上競技場電光掲示板)の募集

練習中は、陸上競技場の電光掲示板にカラロ選手を応援するメッセージを表示しました。表示するメッセージはFACEBOOKで募集したところ、海外からもメッセージを寄せていただきました。(合宿期間中のFACEBOOK掲載記事は、英語訳もあわせて掲載しました。)

※加古川市制70周年記念事業実行委員会FACEBOOKページを使用



カラロ選手へのメッセージの募集

東京へ向け出発するカラロ選手への応援メッセージを市立少年自然の家のEメールアドレスで募集しました。届いたメッセージは印刷し、市立少年自然の家に直接届けていただいたお手紙等と一緒にカラロ選手へ渡しました。

合宿期間後に届いたメッセージは、カラロ選手の競技日程前日にカラロ選手へ届けました。



新型コロナウイルス感染症対策

国から示された「ホストタウン等における選手等受入マニュアル作成の手引き」に基づき受入マニュアルを作成し、感染対策を行いました。

従事する職員を限定し、カラロ選手の日本入国 14 日前から健康・行動履歴を管理し、従事前にPCR検査で陰性であることを確認しました。

カラロ選手及び従事職員は、選手の滞在期間中毎日PCR検査を実施しました。また、検温、フィジカルディスタンス、マスク、手洗い、消毒等の基本的な感染症対策を徹底しました。

宿泊施設内では、選手専用の洗面、トイレ、浴室を準備し、オンライン交流や職員との打合せ時等は、アクリル板を設置して対策を行いました。また、選手にはほとんどの時間を個室で過ごしていただきました。

カラロ選手は、宿泊施設から練習会場以外への外出は行わず、移動は運転する職員の空間をビニールシートで区切った専用の公用車を利用しました。

これらの対策を記載した受入マニュアルは、事前にツバルオリンピック委員会とも共有し、対策に万全を期しました。

なお、実施した PCR 検査はすべて陰性で、合宿終了後 14 日間においても担当職員の健康状態に問題はありませんでした。



事前合宿を終え、東京へ

7 月 21 日(水)、事前合宿を終えたカラロ選手は、市役所前で職員の見送りを受け、東京の選手村へ移動しました。

これに伴い、カラロ選手からは次のメッセージが寄せられました。



【カラロ選手メッセージ】

タロファ！（こんにちは）

まず岡田市長に、この事前合宿を実現していただいたことのお礼を申し上げます。加古川に滞在できて、うれしかったです。

また、加古川市民の皆様、たくさん応援をありがとうございました。加古川に到着して、バスを降りた時から、そして、合宿中ずっと、加古川に再び来れたことをうれしく思っていました。この合宿に参加出来て本当に良かったと思っています。大会に向けての調整ができましたし、合宿は成功だったと思っています。

オリンピックではベストを尽くします。ありがとうございました。

大会結果報告会

8月6日(金)にツバルオリンピック委員会(選手、役員ら6人全員が参加)の結果報告会をオンラインで開催しました。

ツバルオリンピック委員会のミカ委員長から、カラロ選手の合宿受入や支援へのお礼とともに、今後もスポーツを通じた交流を大切にしたいとお話がありました。

大会でのカラロ選手のツバル記録更新、マティエ選手の自己記録更新を称え、帰国されるまでの健康と安全を願いました。

